

# 心をみつめる

第32回

北九州市内・近郊の寺院の僧侶にお言葉をいただくコーナーです。老後を心豊かに生きるためのヒントとなりますように・・・。

## 幸せだから感謝するのではない 感謝できることが幸せなのである

(ある月の法語カレンダーより)

2024年も瞬く間に過ぎ、もうすぐ2025年を迎えます。お寺では毎年、一年の節目に除夜の鐘を撞き、往く年にお礼のお勤めをして新年を迎えます。

以前、ある方がこんなお話をして下さいました。

「初日の出を拝む人は多いけれど、大晦日の夕日を拝む人は少ない」と。

思わずはっとさせられました。希望を胸に新たな気持ちで新年をスタートすることも大切ですが、それよりもまず、お世話になった一年に「あらゆるものに支えられた一年でした」と、手を合やすことの大切さを教えて頂きました。

毎年、京都の清水寺では一年を振り

返り、その年の世相を表す漢字一字が発表されます。少し前の話になりますが、新型コロナウイルスの話題で一色だった2020年のこと。その年も今年の漢字が清水寺で発表されました。

皆さんもご存じの通り、コロナの影響によって東京オリンピックが延期になるほど大変な年でした。その年、全国からの応募が一番多かった漢字は「密」でした。次いで応募の多かった漢字は「禍」と「病」。

「三密を避けましょう」という言葉の通り、人との集まりや触れ合いが極端に避けられた年だっただけに、悲観的な漢字ばかりが目立ちました。当時の私もそのニュースを見ながら同じよ



浄土真宗本願寺派  
住職 栗山 敬真 さん

うな漢字を連想したことです。

しかし、その年、小学生を対象に行われたアンケート「小学生の選ぶ今年の漢字」を見て私は驚きました。なんと、一位は「笑」、二位は「幸」、三位は「新」でした。

- ・ コロナでも笑顔で頑張れた
- ・ 学校に行ける幸せを感じた
- ・ 新しいチャレンジ、発見をした

どれも、この一年を振り返り、喜びを表した漢字だったのです。私にとつては「コロナのせいで・・・」と、つい愚痴の出してしまう一年でしたが、それらの漢字を選んだ子どもたちは、その年を「ありがとう」の気持ちで振り返ったのではないのでしょうか。決して思い通りにならなかった一年を、喜びと感謝の言葉で振り返られる子どもたちの感性に感動を覚えた事です。



浄土真宗本願寺派  
寿光山 円徳寺

直方市古町 2-7  
0949-22-0532

「幸せだから感謝するのではない。感謝できることが幸せなのである」

嬉しいことも悲しいこともあった2024年。ままならない中に毎日が慌ただしく過ぎてゆきますが、一日の節目そして一年の節目には、静かに足を止めて「ありがとうございました。」と合掌していける、そんな豊かな時間を大切にしたいものです。

